



ホッピーだより



No.475

2024年6月1日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook (@HobetsuMuseum)

しよせき 書籍『北海道絶滅動物館』に カムイサウルスなど掲載



カムイサウルス・ジャポニクス

Kamuisaurus japonicus

解説 北海道大学総合博物館教授
小林快次 (古脊椎動物学)

むかわ竜

発見地：胆振管内むかわ町穂別

時代：後期白亜紀

全長：約 8m

日本の恐竜の神

胆振管内むかわ町から発見された恐竜が
2019年9月6日、カムイサウルス・ジャ
ポニクスと命名されました。「カムイ」はア
イヌ語で神、「サウルス」はギリシャ語でト
カゲ、「ジャポニクス」は日本。つまり「日

本のトカゲの神」、または「日本の恐竜の神」
という意味なのです。この恐竜化石は80%
を超える骨がそろっており、大きさが8メー
トルほどと大きな恐竜ということで「日本の
恐竜研究史上最大の発見」とされています。
「日本の恐竜の神」という名にはそんな意味
も込められています。

[1] 発見

この化石は2003年に、むかわ町在住の畑田幸幸さんによって発見されました。沢を登ったところの崖に、大きな骨が入ったノジュールを発見しました。畑田さんは、それらを採集し、むかわ町穂別博物館に持ち込みました。この地層が海の地層だったこともあり、海棲爬虫類の首長竜の可能性を考えましたが、畑田さんは長年の経験から、首長竜ではなくワニ類ではないかと思ったそうです。いずれにしても、この時はこの骨が恐竜だとは想像もしていませんでした。



[2] 首長竜か？

この化石は、むかわ町穂別博物館の櫻井和彦学芸員によって首長竜として収蔵庫に保管されました。その後、首長竜の専門家である佐藤たまき准教授によって研究が進められ、首長竜ではなく恐竜の化石であることがわかりました。首長竜の研究をしたかつて佐藤准教授は、それが恐竜であると伝えられた櫻井学芸員は心の中でガッツポーズをしたそうです。



ひろじみゆ ちみつ
浩而魅諭氏の緻密画(+
漫画)と研究者による解説で
北海道の化石・古生物を紹介
する『北海道絶滅動物館』(北
海道新聞社)が刊行されまし
た。その中で穂別博物館の化
石・古生物として、恐竜カム
イサウルス、首長竜ホベツア
ラキリュウ、モササウルス類
のフォスフォロサウルスなど
が紹介されました。

中国・四国地方ではじめてのカムイサウルス展示 トクシマ恐竜展 2024



徳島県立博物館で展示されるカムイサウルス化石の一部



徳島県立博物館で7月19日（金）～9月16日（月・祝）に開催されるトクシマ恐竜展 2024 で恐竜カムイサウルス実物化石の一部（左歯骨（下あご）、右大腿骨、尾椎骨）が展示されることになりました。

徳島県立博物館が中心となって2018年から徳島県勝浦町で発掘してきた恐竜化石や国内外の恐竜全身骨格がトクシマ恐竜展 2024 で展示されます。カムイサウルスは、この中で日本を代表する恐竜化石の一つとして、実物化石の一部が展示されます。穂別博物館では、この期間中はカムイサウルスの別の部分の化石を展示します。

また、当館に所蔵されているティラノサウルス『スコッティ』の全身復元骨格も展示されます。



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30～17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300円	100円
団体 (10名様以上)	200円	50円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2024年6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2024年7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ 休館日 ○ 町民無料観覧日

7月17日「北海道みんなの日（道みんの日）」は北海道在住の方の観覧料が無料となります。